

会社名				株式会社 高 研	
本 社	〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14				
電 話	03(3816)3542		F A X	03(3816)3582	
代表者	代表取締役社長 垂 水 有 三				
資本金	15,000万円		創 立	1959年10月	
営業所及び工場			会社沿革及び概要		
・ 東京営業所 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 ・ 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 3-23-15 ・ 福岡営業所 〒812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20 ・ 名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-4 ・ 仙台営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-28-2 ・ 札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 3-1-47 ・ 鶴岡工場 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-18-36 ・ 鶴岡東工場 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-17-45 ・ 酒田工場 〒998-0875 山形県酒田市東町1-26-20 ・ 研究所 〒115-0051 東京都北区浮間 2-13-10			1959年：日本医用高分子材料研究所の前身、メディカル・プラスチック・センター（MPC）ならびに㈱高研（資本金35万）設立。 医用シリコーンの生産開始。 1969年：資本金1,000万円に増資。 1977年：資本金2,500万円に増資。 山形県鶴岡市に工場新設。 コラーゲン研究の第一人者である宮田暉夫農学博士をアメリカ・コーネル大学より招聘。以来、コラーゲンの化粧品原料、医療用、臨床診断用試薬、さらにバイオテクノロジー領域に関する商品化を進める。 1983年：資本金4,500万円に増資。 1986年：資本金9,000万円に増資。 1991年：鶴岡工場新社屋落成。 1996年：代表取締役社長秋山太一郎が代表取締役会長に専務取締役宮田暉夫が代表取締役社長に就任。 1998年：アテロコラーゲンの量産化技術と、その応用製品の開発が評価され、社長宮田暉夫が科学技術長官賞を受賞。 1999年：多年コラーゲンの社会公共に対する功績により、社長宮田暉夫が黄綬褒章を受賞。 2000年：アテロコラーゲンをういたプラスミドDNAなどの徐放化技術により、日系BP技術賞（医療・バイオ部門）を国立がんセンター、住友製薬株式会社（現 大日本住友製薬株式会社）とともに受賞。 2003年：資本金11,000万円に増資。 2004年：ISO9001（2000）／EN13485（2003）認証取得。 2008年：名古屋営業所、仙台営業所を開設。 代表取締役副社長垂水有三が代表取締役社長に就任 2009年：設立50周年。資本金 1 億5,000万円に増資 2010年：シリカ高研設立。札幌営業所開設。 2011年：本社および東京営業所を文京区後楽へ移転。 2012年：凍結乾燥化粧品品の加工受託専用工場である「酒田工場」が稼働。		
事業内容					
医療機器（コラーゲン、プラスチック）、コラーゲンのバイオテクノロジーへの応用、教育用生体シミュレーター、化粧品原料 上記分野の研究・開発・製造販売					
発 売 主 要 商 品					
・ アテロコラーゲン（低抗原コラーゲン） ・ アテロコラーゲンSS（中性可溶アテロコラーゲン） ・ アテロコラーゲンMS（両親媒性アテロコラーゲン） ・ 加水分解エラスチン（ウシ由来エラスチン） ・ 加水分解α-エラスチン（ウシ由来エラスチン） ・ エラスオーシャン（魚由来エラスチン） ・ マリムチン（イカ由来ムコ多糖） ・ シージェムコラーゲン（魚由来コラーゲン） ・ シージェムコラーゲンAS（魚由来コラーゲン）			・ ラフランスコーケン（ラフランス枝抽出液） ・ サクランボコーケン（サクランボ果実抽出液） ・ ラフランスパウダーコーケン（ラフランス果実） ・ サクランボパウダーコーケン（サクランボ果実） ・ 庄内柿パウダーコーケン（カキ果実） ・ コメエキスコーケン（日本酒由来コメ発酵液） ・ マリブレンマスク（コラーゲンシート） ・ コーケンパーフェクトアクアジェルシート（可溶性シート） ・ 凍結乾燥品加工受託		